

## 熊本市現代美術館（CAMK）

熊本市現代美術館は、美術館であると同時にコミュニティスペースでもあります。草間彌生、宮島達男、ジェームズ・タレル、マリナ・アブラモヴィッチなど、国内外を代表する芸術家の少数の作品を常設展示しています。作品の間には、夜にピアノのリサイタルが行われる図書室や、子供用のプレイルーム、カフェなどのパブリックスペースが設けられています。磨き上げられたフローリング、高さ 4.5 メートルの天井、可動式の間仕切り壁などを備える壮大なメインギャラリーでは、毎年 5 回程度の企画展が開催されています。美術館は可能な限り幅広い層とのつながりを目指しており、最近では、アニメーション制作会社スタジオジブリの素描、蜷川実花の花の絵、ポップアーティスト・村上隆のプライベートアートコレクションなどの展示が行われています。その奥にある展示室では、地元の芸術家や工芸家、デザイナーなどがアーティスト・イン・レジデンスとしてその場で作品を制作し、学芸員のサポートを受けながら展示を行っています。